

平成 23 年度 病院事業部 経営計画書



部署名	病院事業部
役職・氏名	部長 上田 和政

● 部の使命
 私たち病院事業部は、「市民に信頼される病院を目指して」という基本理念を掲げ、それを達成すべく医療局・医療技術局・医療連携局・看護局・事務局・牛窓、裳掛、美和診療所間で連携を図りながら、健全な病院経営をすすめます。

● 部の基本方針
 ① 質の高い医療が受けられるまちを目指して、医療の質の向上と安全安心な医療に努めます。
 ② やさしさのある医療を行います。

● 平成 23 年度 部のスローガン 何事も全力で

部署内経営資源				当初予算 (うち人件費)	事業会計 1,346,462 千円 特別会計 55,063 千円 (824,605) 千円
構成人員	正職員 78 人	臨時職員等 43 人	計 121 人		

病院事業部 重点事項

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況
1 医療の質の向上	医療技術を持つ職員に対して、技量UPを目的としたセミナー等積極的に参加させるとともに、診療報酬上の管理料等の獲得に向けて、医療現場スタッフと医事科スタッフとの定期的な勉強会により医療の質の向上を図ります。	新CT使用件数の増 診療報酬上での各種管理料の増 各種検査数の増 医療技術取得を目的とした研修会への参加数の増	新CTは、12月から稼動する。 心エコー技術取得を目的に院外研修に技師が参加している。	新CT使用数は、横ばいで増えていない。リハビリの点数は、伸ばしている。 心エコー技術は研修で取得でき、新年度より技師が行う。
2 優しい言葉と笑顔で接遇	患者だけでなく病院を訪れる方(家族及び見舞いの方)に対して、笑顔で優しい言葉をかけられるように接遇研修を実施します。	患者の満足度のアップ	接遇研修を1回行い、今後講師を招いてもう一度行う。満足度調査は、外来で既に一度行い、満足度がUPしている。	1月に再度接遇研修を行い、笑顔で挨拶できるように、訓練し、実施している。
3 病診連携・病病連携の推進	院内に地域医療連携室を設置し、市内の医療機関及び介護施設等からの入院支援及び当院からの市内外医療機関及び介護施設への退院支援を行います。また、岡山市内の病院からの患者受け入れもスムーズにできるようにします。	連携室立ち上げ後、 患者紹介率 25% (昨年度 16%) 逆紹介率 30% (昨年度 26%)	連携室の立ち上げが、遅れ1月の開設見込み。現在立ち上げに向けて協議中。	連携室の本格稼動は、2月からとなりました。立ち上げ後の患者紹介率は、10.5%、逆紹介率は、24.7%です
4 病院機能評価の受審し、認定証の取得	医療コンサルの支援を受け、院内で組織する病院機能評価受審準備委員会で領域ごとの問題点を洗い出すとともに、解決していき、10月末のサーベイヤーによる訪問受審に備えます。	病院機能評価認定証を得ること 1日入院患者数 77人 1日外来患者数 本院 127人	10月26~28日訪問審査受審。現在、結果待ち。10月末時点1日入院患者数63.9人、外来患者数124.4人	3月2日付けで認定証を得ました。 23年度の1日入院患者数62.2人 外来患者数126.2人
5 病院IT化の推進	医事会計システムの更新にあわせ、電子カルテを見据えての一部オーダーリングシステムを導入します。また、PACS(パックス)を新規で導入し、病気の早期発見に努めます。	一部オーダーリングシステム導入後の 入院患者1人1日当たりの収入 100円増 本院外来患者1人1日当たりの収入 20円増	オーダーリングシステム導入が、2月1日に決定。現在詳細な打ち合わせを実施中。新CTとともに、PACSも12月に稼動。遠隔読影は1月中旬より開始。	入院患者1人1日当たりの収入は、昨年より924円増(2月末現在) 本院外来患者1人1日当たりの収入18円増

